一般動分大衆の生活安定に農民を初め中小面

全の方途を課すべく河豚田内相以 郷なりとし、今後の議事地行に萬

b及ぼす結果になるので |下脚級首脳部の心見が一致した

が散語版を放棄せるものであると

後度に覚機の意を表し木法線の 一歪の努力を搬ふのが成も當を得た 都能酸を放棄せるものであると しあくまで木法線の無事通過に最

對支經濟提携のため

主融機闘を要望

で国の資本によって削立される。 関分総部は十日午期十時年級行数であるされる。 関分総部は十日午期十時年級行数

事業、世振事業を行ふととなった 一般利益宝二十萬國を投じ土地改良 から十五ヶ年計造を以つて一ヶ年

三千五百町步、岡邱浦助廿八萬国

問行江水力周五開発をに隣して打

けさ飛行機で

土地改良干拓計畫

同館に調査を行ふこと、なる模様一へられて本府に入つたと、なり館候削はこの委成館に供。で来城、今井越信局協協は田の資本によつて制立されるこ 民分参謀は十月午期十時

で来城、今井越信局投資議長に迎

國語を解する者は

の鬱祚振りを以て明かに曖驁自體。飲並して関密なる齢事態行を切毀。吹蹙紫代統士の光遠する鬱鬱は群「楊本誠代最古は陰聡に極貞相を訪」半破鹽した一般殿本慘跡における関鹿鯉麟法幾。るを極度に襲遠し藍洲の鬱滌艦を 撃一折のため所の如き不信なる既 時二十五分同ぶ亀井 川辺・次谷、 結城象量指相から吾婦あり同言(東京追訪)内御省では九日の穀」面衝突を凝起するが如き事態とな | を聽表したが奥に歌居はこの鸚臘| 戦すべきであるとなし九日年後八 | より質問あり、これに同し極音

内務首腦部は萬全の努力

育は午後一時四十一分開育、 質弄公(大曜) 野台語三字

二時から本前第三僧献帝で | ら引つとき開贈されるはす門は江水市制金を政策は十月子後 | である、なほ十一日午前十

二時から本班第三館総称で、京連陸側より回分間東軍参謀、河連陸側より回分間東軍参謀、海岸東部線務司長、狭田企園河岸を建一衛階側がら山田建営、大行の将原局長、恒川外事へ井、電景向謀長、福島外軍、第本市、電源事務官が出席

「東京電話」九日の歌族院及外認

きのふの豫算總會

训查打合會

けふから本府に開く

て政府は国民に對する信任を向かに議管解散を奏請本案をもつかに議管解散を奏請本案をもつ下級議院の空氣に鑑み政府は認民健康保險法案の審議に對しる

館の流型な区別期態奏数し結局握一展なりとせばそれは過去の設質認

てをられことを最も明腑に示すも一治の魏軍なる単面がポだ敗められ

は 間の東京電流制制しかない、我 既に議官も除す所僅か二十一日

第一は現内田の政語に関し質問

の既成歌館の態度に對し批節大彩 「黒泉部語」 図民保郷法数に對す

社大黨から

また何以近間法案は簡明

しの運命に陥るといふが知さ説が

男(公正)読事題行に関して認言日午期十時十二分開館、岩貧道供

一人できるが社意的に若干向ひ 内閣の立場に私は開閉してゐる 内閣の立場に私は開閉してゐる

東京 九月の崇龍院本館議 が暗聴音等の反射によって振り流。

れ、前夜から話々し、

既正を日祝門 香場は 明風神 境内大村 消像を 中心として

官長附栗の略式自動車南海に御鷹裝を召され宇佐美侍從武

将国を一般に納めた以政能を卸川村各軍司令国以下職役延軍の 山、樊明光郎、馬木、野津、乃木、

に至中集合を終り、所称飛行軍百五十餘機は平町九時立川

を拠し総四十分に即

ĮĮ.

十八名に附属理勘を貼ばり放大 山、有馬、竹部、陸龍軍將官等四

敬苦市坊信義ル兵中尉の『遊覧』 へ駆餌、泥淵事壁酷河作戦の殊 懸深く天霞、御少龍の後講演基

はれた、この日下志津、熊谷、 時より、東京市上空で館かに行 門産事場が日たる十日午後二 めての空中大演習が第三十二

經殿、重像と四掃随の大組成。据指征機を先頭に脂跡、低気 型校長工機英式郎中時指表の

製個が音楽にそよぐ、来質四百 までに 掃き 消められて 大天幕

掛将校干二百名その他親加職・配京処役財校干八百名、同

数集の世に大変開場に銀座玉座 院十五分に取って印線心に明し 院十五分に取って印線心に明し まか代

ら間々と砂泉、何れも靖國神社・数々の動草を胸に午期十時頃か一

輝く

駅談に花を吹かせ老いの脳を懸む松大佐(**ごその他解戦有志が回

郷中佐(*゚)小

護國

の英霊に御拜

元帥陛下行幸

命軍は九日接後百都東方六十十一人院後の決職に入るものと思想が アヴィラ九日同盟 スペイン革

攻腿に出で或府軍の抵抗を駆破し

河野通 勢郎

奥へるかについては一昨日の貴 乗へるかについては一昨日の貴 がか大綱に過ぎなごとは大説の政 策が大綱に過ぎなび、其他のに何 なの資策を踏襲するかは領売分 者の一年で行かな問題もあり場 係存着とも安部した住充分含大 ほんで表した住宅が分され 係を着ともをある。 を照らして、お真にも庇吉にも、後ば過ぎの春の陽が麗らかに庭 延命総最後の一

結城藏相 對支輕層提供 大々職分があり自然その活動もするが只令までの金融機關にはには根本的に金融機關を必要と 『お媛様、良いお日和が聞きます になってるた

佐藤外相 無済生でにつ

せられ前頭いとど御遊はしく各一

【東京正話】日路の役後歯三十二 | 大元帥唯下の線蹠を仰き奉り 軍衆隊の市中演奏行逝、刑期的の

県王族原下、参州の軍臣、老時と 軍國調

期望、大元献陛下の萬歳を三昭 と 御別に参迎、 恭しく 式籠を ユ この時寄呂帖行此長はしづく 用鍵、大元配陛下の萬歳を三型 し添れは一同これに和して九段

間行動長見下鋭神襲以上芝、内 地光者の各窓下に御島伽、健い 神光者の各窓下に御島伽、健い

の神域も微ふばかり次いで祝宴、図碑社へ頭に扱くも

遊園の発生水へに神饌まる九段引 十日金國律々浦々で例年にも増し

帝都を壓す大空中

はしく原御のらせられた 諸貨総徽の奉送裡に天機いや龍 御興味く御物語り遊ばされた、 かくて午後零時二十分便級にて

二年町の野兵の祭苦を思んだが一にらつり傾倒の陣中料理に三十一

入元帥唯下には畏れ多くも諸政 同じき御称理に玉器を傾ける

的東領元賞の非常時局を反映して。四百五十名が大祝哲館を賦した外間がの光輝ある陸東記念日は本格。相以下現役在郷府屋その他約三千

接管貸付は利率平六分、曹道貞一懸筒局伽殿稚振彦貞付を平五分四一れを實施することになら即邸場伽殿契約書に到する仲殿 版 低途利の 情勢に順應する ため | 下げを行ひ、來る四月一 から實施 れを智能することになり十日付の

数から顔を出したお酢が叫んだ。廻り配下になつてゐる可ふの座

れにてお暇頂きまする。 『はい、左標なれば早速ながらこ

杉原通譯官の査證を

时は年七分二無であるが地位の一一無に、賈通貸付を年六分六厘に引一国報で遊表した

上式に担郷 丽夫人が 白露人との理由

のでモスコー帝國大使館は直接ソ **注解日ノガエート大 | 東部長を新い重ねて変融交行を要。で内地に向つた大使離断を続せられ、(が人民委託部にカズロフスキー趣・十日午後四時十五分『ちかつき』大使離断を続せられ、(がして来たが九日浩勾夢単官が外)の力に嘉東政府投資業勝長してまた。** 第人だつたといふにあると解さる|

英船撃沈は誤傳

日午後ビスケー暦で緊睨せられた 【ベリル日同盟】英国アダ駅が八

沈されたのはスペイン船マルカン 些以した報組水兵の議によれば報

湯在は と無へられたがアルカシオン港に 三號 (大六三三層) なるこ 穗積殖産局長東上 約二週間

| 園長|| 九日夕入城大塚原館へ|| 木張入少將(平壌歩兵第卅九

来るべき知事師職に反映する説 奉天戦捷の正位、防空防護波 商品質の初度全能巡視終る。 天地玄黄

代日本の面目永遠に豪華を読れ 泉的、結局其體的何ものも待た 避れ馳せながらも敬容既鄙蹤上い。さすれば暖龍に豊かつく炭 館、結局具體的何ものも掛た一の手腕も出来たと申すもの。然に 出離器外交部長の源蔵軽蛤揃一目に逢 うた れば こぞ、この腹ひ 写あのやうに概を汚されるやらな

盟、急速の進步といふことがあ┃か、却つて韓国の名譽とも云へる

4府の國語獎勵方針

(210) 邦枝

後年ご 保 世

は鋭め果てた延歩のやうな思ひ出 一夜の出来事が、今一吉の殷親になつて聖 何んと御禮を申上げてよいか解り 不足でもあらうがこ 一日出るを過すにす 門はい、何から何までお心添へ、 この美野部、四 To Coff

さいます。 それではお言葉に從ひ ますれば、けふは一と先づ速れて る際して思り

たされて、からして不安もなく。れば重色、萬部は後にして、それ して云はわばならのことは何もしなりに参りますゆる、その節は した。何分宜しくお願ひ申上げます。 『うむ、御承知下されしとな。モ 即りまして、改めて御棚なりお顔 **愛又々四册新發賣!** 特別計畫の華麗を極めた豪華版 講談社の繪本 よりも喜ばれる経本が解析です。その他が現代の別のは記りに、その他な子供への関めは記して、その他な子供への関めは同じの

激訓名 画集

人豪華絢爛の國寶的大畫帖 (でこの顔ぶれこの大内容!

頭を見てゐることが何ものにも代しでは何時なりともお引き取りなさ

● (至) 年代的 ● (至) 中央 (三) 中央 (三

特別豪華版八十錢

お子様が飛上つて大よろこび

勇ましく (廉價版二十五錢) やさしく、 美しい

(定價 三十五錢)

明るく、 面白く、 賑やかな

て確能くてきぬで、思れば見るはと確能い、このく、アッヘッハキッキッキ家中そろつて大笑ひーだし、アッヘッハキッキ家中そろつて大笑ひーだし、

大人気・金麗書店はあります。何處へ行つても引張脈の

知らなかつた。

完

本日

富永學務局長

游洲國視祭

海洲國各部市を貶訪して廿三日島にめ十日午後三時三十五分京城設高永本府県帝局長は福泗図視線の

| 古さんも一緒に此方へおいでな。| お文線がおいでくございますよ

はもう壁へ切れぬ唇びの硬が溢れ、消失傷が振返ると、お萬の眼に

も出ると、玄鵬

脇には、炎 やのお かつが 待つて で、お餌はひし

と慢やの手に取っ ლるばかりだつ

違って出た。

『あれ、お節襟』 響に、あなたもこれから度々お職のわたくしもお訪ねいたしませる 山かられからか

びにおいで下さいませら 『はい、有難う伝じます。』 温をきかした消息例と整やに趣

れて、お萬と離んで既やかた日の 疑れて過ぎ去つた は、この数ケ

一般明した越町屋の娘お館の一番流場の定吉のお調べから この悦びに引換へて、こ されるのであつ

れてゐることは

「好の名、唯大龍山日和に衛種プロに彩られた脚名、脚鹿の合然のガス増帯に包納され、空中も地上も複野定主らぬ 肥料學演習の非は膨慄と興奮の裡にサフと切り落され、

整紀の第州二回建単記念日を迎へた十日、何まだきから

科學兵器を總出動

敵機來る!空襲!

伊船島を考慮したかられが現なられて機利が中せず、さらに銀

意義深き陸軍記念日

顧問の動比だ、半路の資本大京城か全市同談を演揚して国際の動比だ、半路の資本大京城か全市同談を演揚して国がマファを選だ、水だ、マスクだ、私景に島の認出動、研 興奮と戰慄を全府民の胸に 京城附近の防空演習

十條英人で正に大京別紀野はの原拠である きりに指揮行的に往来して、脱機は正に熟した、六十七萬 り統日を天容に一齊似中して火箭を切らんずと待ち概へた の空襲に備へ水も洩りされ防腰陣は敵機の来襲巡しとばか 心で能敗近る空間消費曲區を統領に突厥強略に完め、軽機と発すり、副巻洋技件村聯聯動間技は超損所はとして自動 開設らは最終として三世紀上に師取つて難況の原別如何に 一方な観光的につる開城、仁川南部市からの繁和情報はし

正の任前が駅前にはソレッとばか。臥牛山防な監哨所上至を巧に通過一飛ひ去つた し、野水に備へる間もなくでに次

ある場所によって変を地帯に

な行方の言語でたる。

現を残った吹雪のため醤加出来す

以が西北方の暗雲を衝いて興来、 現形行出の認信機と採用行機の二

フト下げ肥を取つて京城心襲部り解機めかけて銃火を治せかけ、

統日は火をはいて忽も場合の重奏

国を残つた吹雪のため参加出来す。まして全部概要の預別を誇った高いの無数、飛頭鹿五楼は今朝来半一般だ、サイレンの背は山野にこだ

態投以下川、肺腑の条件に平謀より入城した高不寛州九島

川岸師殿女。河門安は女人柄中の

が一般散散に包まれると同時に、 「城飛行士与の僕にする正河義勇一投下して協災に包み鮮顔前を爆撃」 進二年三龍引な戦闘に出 型「無三強引な戦闘に出で、地」「こうなど、特別して、対して、対して、対対がほに爆弾の雨を延らし」で逃げませる。
『顕釈三志』、貯造、にはほ下一路に京城を撤越せん。の非常はワーツ・ワーツと呼吹し

南极に続けを耐へて延野を浴ひむ上れら高別的無点カタタタ・・・・・と かけると、敵機も似乎をうけたか び北沢山方面に焼砂を浸した 高い代謝なカタタタ… 安田銀行、丁子島の歴

-- 三越の二階に取けられたラ 寫眞說明

の商品哲、小優東前令国 石上)三世界上で観戦中

僧に十字火の如く集中される高 ら立つた数様は龍山麓から線路 て不製を発れたが原度の失敗に

一般には一個ないのでは、



本主コの年島民に非常時間の認 都を中心とした大時至、防護の がは、近の日本語に いやこ か

衆の逃げまとか中を強をからして か、当年・敦助して行く

** こう ことによって 母でお ンドカン、 製造い暗吼を供い、 そ智を超げることによって 母でお シドカン、 製造い暗吼を供い、 そのを からなる ことによって 高い 高速に変し、 ドカ

水登浦製はる

人隊の活躍

記行、小選集が全国その信息のカートーニ 長四龍のベランダには南

に行い、消防自動車も流徹、交配 で行い、消防自動車も流徹、交配 水で飼養・健康指陣の中へ這人つ

あたり姓後の守り聞いところを

行びくで戦後

沢ぐましや 鐵道を死守

そこだ 軽快・巻のリズム

発色ある流行歌 大 明 中理

于晴

作をは可能を使一時間に

今村

、完隨意

新进加盟

程域的度 北西本島2万円大三丁橋 (場所) 関係性に関す込みを超びます 原城若草町大畑り角組織人名前集 ではに関す込みを超びます

の音楽は、音響性してある、現れた。 「原質・「集質」・「非十六分酸機能」 一時十六分酸機能

第三回避認の自になった祖山路

・1 三 1 四番半島民に非常時間の認 地を大くきこむと同時に関係思し、 思を退婚なく敵域させ好成群を 作した との日本に、日防な人間はのタス

なた哲子だねる

描って 登録を記録を認識し口を 自の機能に

こっドカンで高別図が決断の大祭

健夷弾にどの役瓦斯に記算はか

第一部機に

際道局管告交換器の

関上が

塩

完

压縮機

空氣

病 八院

帰郷や強見罪を 逃げる小僧にも見律 「水の用電をして下してい場に電性を簡単し その日の京城府内雑觀 された。「路町は底篋」と清冽州、

る、過手子を重要は難し続の洗練と素がした数では温事項を標準す 派字鑑道のヒツト

所へ走し、辞親斯が上観いて製製「子上」にマスクをつけて標高やもに製製「物」引 退題裡に救護班の活

| 近れ年名:本世年に守しに名この。そうじて数加された、加年書で放の前人局は、技術六百十七名。 単三大家の人に復紀され、揺の中からできばい間の重要、政門、大學の「指揮に大をつけて心中を得つた五」

専門學校出は八十山に

物價騰貴とは關係なし

に信用いの場で広園選挙でを遵子が六百名、合祀子二百十七名に初

に決定、関かなクリーンセッ

人夫六名下敷

製造教育が、民政会は

売つ飛ばすことになった

した海に戦闘流がタタタタ・・・・ 消し着の赤自動車がかけつけて消 外の別だ「解除は三日末 | 代に完めて、構内のホースも思想

言虫紀滅

本には人れて初世紀の引上げ一 してゐたものを聴血がふつさ

行つたもので、この単細説画は「野宝宝」のできて

老將校、老兵上の

動機は更に関邦、維考別を設け、本町、川川大田、荒を記ち盟退は上ガスで充品した。の時はは、第二巻の

の低して現れ、ガス罪を指下、部

胸に能く企動感音

融つてゐるが、何にしても近頃

*****					. 1		_				
ソ号頭に	高中であるが。原の構像	近びセプランス病院にかつぎ込みして飛歴り期部背中に打造製作を	氏(学)が統治を月の母題で早まという。他就治を見るの母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母の母	かの世もんとするとき、来答の	がりて重傷	妊娠七ケ月で十日早世	The Part of the Pa				
咸增北	部正原	平平	慶 日 昭 北	全 全 商 北	忠京黃 南 北綾海	天	CONTROL OF STREET				
"	北東西の軍	//	"	の北西主東	志南北 北西の風	取除	And the latest and th				
潮れたり	罍	量晴れたりり	11	電の風で見かりからなった。	孌	天氣豫報子思	Contract of the Contract of th				

		******				The state of the s	
元龙	三 咸鬼北	知山原 北	平平 北眉	慶廢 萬北		遊	天氣
5	"	西東西の東で	//	"	風乃主東	西の東方	豫如
	譲有 つれ たりり	罍	量可れたり	"	りた小詞が降っ	姭	子三

ひ出の軍服に身を関った岩野投 や者が主、羽織特に軍く金箔動 等を傾用した老身上などに送内 一、教を関列された正代的第十年。

をく何何とれた近代的学科を言語にホホウと意味してノートナ 動には在城州施技の小學技、哲

は任後一時から所図記測単人後 しき活動の程に復した でうやく全印は平時の日まぐこ 宮に祭拝の報を三配して散費し 肚慢を呈しつつ行進し、朝鮮寺

火達磨心中

一演の題し及び川岸師園長がマイク

・金野に健康記念日の意義 | 男背男へこと叔父申貴敬へとの三

加半部北面水洞中與均(こ)は七日

危く救出さる

午後六時半ごろ賢苦と病苦から長

記き屋前に載を行る間である

短火流く去つて午旬十一時廿分か

在城の臨東書校」干名に建設干名を交へた韓東記念日の祝宴は十日を列十二時半から祖山協行城で窓大庭職建に開かれた

F獲野兵の面上には確せかにP電天大倉城に當るので参列

競役で藤々たる武師を出てた

の重要、少に行った川岸毎年師」 を実かし事職式の難り版と繋べの重要、少に行った川岸毎年師」 シに石泉を打ち、午後等時半歌園の庭でその頃の思ひ田話に花。 實した

思び出の記念日

龍山では野戦式祝宴

街には中等學校のラヴパ鼓隊

偕行社の記念祝宴

危 Ē 防毒マスクの良否 ある日本化工製を御撰定下さい。 本邦唯一の陸軍科団 学研究所検定の は人命に關 散次第カタログ語ります 全國一定正價 糖重 ď. 式-----Y12,50 用-----Y 5,00 印

> 其他寺瓦駅検知等賦式器等取揃へてあります。 在所得信ですから利用内は即用語ス字明明け取します。 陸軍科學研究所匈指導

本 化 工 株 式 會 カ ナ へ 商 家 明 所 丁 和 添加 (4) 15 1 8

H

:5服一前。

社

會









社會式株造酒西小 鄉州伊瀬根



議場は風雨後晴 四道會きのふの狂言 李明求議員農振統計をこきおろし 金議長と暫し渡り合ふ

一日目の忠北道會

理だのに百名收容はなに更困る 型が原は金添著へてあない、曹 投一校一學放入十名収容さ、無 型、自体學院生金添著へてあない、曹 では、一次一學校子 では、一次の一学校子 では、一、一、一、一、一、一 では、一、一、一、一、一 では、一、一、一、一 では、一、一、一、一 では、一、一 では、一 では

に過ぎぬか」と質 凝粒は一片の既煙 ップを切つて『建一立も

なので削除した次第である。 電話で充分に著属されてゐる由 を思はれるが、國境繁確道路は と思はれるが、國境繁確道路は

▲阪島韓貝 毎年提出された。 本、大阪島韓貝 毎年提出された道民の最大陽心事 道案のその後の成行如何が道哲 道案のその後の成行如何が道哲 であるが、それにも拘らす起 であるが、それにも拘らす起

蒸し返し議論に痺を切らす

牛煎成財策等一くさりに

しから高地帯帝派劉武の不備、

經費所に提出してゐる」

と客へ、

しれに関し古朝意興は『建議家は

沃川農浦校の道費を管、道路間 【沃川)珍しく國語で質問をはじ

ある際、盆々増銀する理田如何、

り女高曹、中學校設立は早く實 年に十學級に増加する計畫であ 年に十學級に増加する計畫であ は出來るだけ剪める考へである。 後等時十四分体施、鑑田料組が中 その他各参規能の答案があつて午

矢を放った後河川貨瓊金の指 | 電景から蘇り往覚されるので言| 脚型を引出し | の米質脂質を製目に得り越された| 将総域なほも離け | れは砂製だと目性膨起定着の叛富 | して窓ます葉草染第一選解も六名| 響生硬骨腹離に現れ大阪の、楽別 | となだめたが尹淼娥寒知せず、こ | に重視する監約く、目標は速々と

忠南道會峠を越す

式いで田旬度、李程製商歌定交と 編の不能能を鑑じ取締貨更の単立 たい そート有単作です。マスコー源技定用売售(甲由)環域健康取

機能質、金殿の第一語館とて山の一 は特問都行で定刻開始、物業費、【成理】 成階進電部開日(月日)

から近戯の急促を衝けば

送石に干軍夷馬の古剛、大局高斯 | 側の機能振起験?に震想な突撃を改き尤由| 政策に関する路局の占針側回 | 於ける厳南非果の第数を改き尤由

四日目の咸南道會

を維列して佐藤山体器長と思り合

金山港に躍る景氣

一月貿易驚異的に飛躍し

中小河川政修の地元資道は絶對的

地方深長 而戰員政治費組

人八八四 九六四回▲計一、九條田一 〇七六、二一三回▲韓

父親の死を秘す

平壌の歩兵第七十七聯隊

同月と比較して重要貿易品の

二十五回の地加となった内部室 ス〇六四 肥将も増加し結局二百卅五萬個一の大増加を来たしたほか牛及同月一萬七十圓)と何れも霊異同月一萬七十圓(罰年) 御國に献けた息子に

戦と現れ出でたるは融かかたなき争略。 忠関サンチョ・パンサこそ継ばおど輝いこの道は春に通する遺なれば……~ のドン・キホーテッ番はロバに乗つて

砂選に腕をしかめて愛馬の風にひとむ滴透込んだところ、走り去る自動車の か!しと春の陽を浴びたがら遠差りと

ち、大地に搬がる春を求めてこのドン

に隊中じ同

郷里で死亡したが、『軍務の終る

あつたので、重ねん

れと母戯の干代子さんから手紙が らせると悲しみの命り軍務を怠る おそれがあるから知らせないでく

元頭から或職の指令を受けひそか に昭郷した忠商扶除郡扶庭面佳塔

る赤色国際労働城盟易鮮支部の駐「新義州」共国の手先になって鼈一 赤の潜入か 新義州界活则

に本人に題らせてくれとの依頼が、時軍國突滅として職隊の将兵を懸 政府管中町炭鉱一七〇両野賀岩の あつて中野長を歌歌させてゐると、動きせてゐる、なほ三次君の亡父 ころへ、また同じ中隊の初年兵大 第十中隊の誇り 赤い青年 懲役一年言渡

は日直職に従軍した岩野土である

で停車中の抵抗部級子一組(價依去る四日午後九時第監督里縣間内

【大田】昨年四月南京〇〇派の金

をり平臨富局ではこれ等態状況に

興、鼠曹別級増加、配易校の野米一れ各へたのも海路が開発(扶命) | 木水土木、河野県佐南郡長それぞ の窓大選算を服袋通り可決、都長 脚あり、大した質問もなく喜を誤一一拍影響する話を宜して破死の神仏の一面一點認識その他の質[日午脚十時四號以下十七號前来を 法と東地物資の集散狀況如何、 | 本書記録(場山)長項語の活用 | 省略して第二、三號鍵を一路上記 明十日は陸軍軍器日で民間・十十

環議説はすかさず

一般し、同様性の動語で、当時に

原は製太郎融歌」。 はし、十五分後鬼館、加藤をほ投館終日の九日は、老巧な締長、開髪を入れず休恵をの歴終日の九日は、老巧な締長、開髪を入れず休恵を

と統則利用を主張し駆動示を確立 ・統定(欅山)は黄色塩草無作識態 ・統定(欅山)は黄色塩草無作識態 ・統定(欅山)は黄色塩草無作識態

拓殖鐵道促進の

電報を要路に發送

題答あり、二時四十五分休息に入郷と非戸改善につき眞面目な質疑

り金田事上り初等教育問題につき

性、その他を説明、英術生調長、

仲小作官の答解あつて 戦時 器 雪泉

と参展域との間に政治問

館の質問につき街道あつて農村提場に美意混る、金融長から第一選

亚麻町各一時間

明せ上」と続く攻め寄ったが妄利 『第十四盟解製の部除原由を形式と明快に答へ、求いで金昌浴証定

道南韓尾の翻解は期せずして消息

と提議して松脈整線はも見る京水

で、「お食)皆ない。」は、「寒路に打電することに決し、電文で、「お食」をである、今更どうして削縮。滋悲り変に實理を強の電影を馳縮された。」の「金融変変員は全員で選出した」の耳をそばたいせ『佐蔵ペペ』の

能鑑道の促進問述」をひつさげて

手長の 女将

遊は、緊急動跡ありと叫んで『振

達師に入らんとするや加騰質が即
を係ちた、時に午後三時四十分

遠師に入らんとするや加騰質が即
を係ちた、時に午後三時四十分 は談長に一任、ここに去月二十六

出より開留された第五回平北道館

楽調査官の路上で十五年度より 十時年春内に興星一二全華青号2 郡に下の急務である。昨秋の雷韓は 金笠食(こは去る) 月廿三日午後 り、たの急務である。昨秋の雷韓は 金笠食(こは去る) 月廿三日午後 り、 本加隆維領、 新龍鐵道の青泉は文 の進行とよるに折船破損も若手、平原器に緩縮された
日産は、江東のは、北京の東部に、京東の東部に、京東の東部に、京東の東部であった。
の進行とよるに折船破損も若手、平原器に緩縮された。
日産は、江東に、
の進行とよるに折船破損も若手、平原器に緩縮された。
日産は、江東の治手、から四百寸回をぬきとり飲み基に、
「藤壁と腹蹠し帯外と渡り合ふことが関連となった」が的域をあげて放進中向人の腹揺、山藤域なほも原産財産機、
高生内容等されることが関連となった。
が的域をあげて放進中向人の腹揺、山藤域なほも原産財産機、
高生内容等とれることが関連となった。
が的域をあげて放進中向人の腹揺、山藤域なほも原産財産機、
高生内容が成れています。

な女将一府内館後里欣食店の女将一びれを切らして『融散に』 【平度】 避客の金を締んだ不識さ |各論に及る大演班を行へは辞聞し

部に歴めたい」と心際に終れば杉 ら阿片、亜麻の栽培、山路指導の 佐女木內粉部長『指導機

段(安邊)交も苹果椒草の蒸し辺

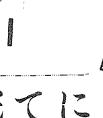












効能

【大田】忠開道院七月日は九日午 | と祭命動語を提案し多数の賛成で | を記さ、帰収の話館を見したのち

▲柳宮森貝(光山)苹果極重の詳 等々……慰切ではあるが質問の趣

和九年秋から府内景町四丁月元由 過遊館はに私人夫として届けれて一器高等館では窓膜の破壊を突 「元山」所内縣町季監確(これ)は堀 | 選をもつ李成質外七名が平北道 設能し同語選夫芝田が夫君(モ)の 一様は純来の固定性から浮游性を形 こたが、去る一目解雇されたのを **|動と誤信し八日夕間右に金十圓 | 難してゐるので相當の變查許心を** 相手を半死半生

くし日来一番に活動を別始し

に耐人したとの情報により衝発性

期部その他を激打しその場に皆倒一 ¥200尺の解のステッキで同人の 信用方を申入れ拒絶されたので一要するものと見られてみる

新義卿の火事「新義州

歌さんらなはらか」 と入つて来たのが削

腦神經專門藥

悪運盡きて

【與南】窃盗犯人として一昨年期

で指名手配中の成州都川西面

ト、自動車が増加を見た程度である企業材料として緩、セメンをく企業材料として緩、セメンのお出増加となった、移入は衝

のたが五日午後三時頃邑内九龍里大工職に化け各所で思事を賦いて 継載機合きは既に懸査の目を逃れ

してゐるところを平腹事が遂に逃

少年七人組

鐵材を盗む

奥中臨旅院総職が平原署に観撃さ と、訴跡遺職のあつたつが一緒だ「平達」雖養里鞣定しの七人組の 『あーたんとこんの新聞に出たつ 析内新里五七文類語、t. 好火名で Mのこだら風になつて、ましたきれ目下取調べを受けてあるが右は つたけん、今度の主義権智慧を閲覧 七組五十銭)をとり外して窃取し | んもんの過むかつでん、あーたん 問題やどぎやんなりましたか」 まらんごたる」

た外四性の制度子可取を自由して一陸に仰のつく、そりばつてん水利 組合長はよござりますばい

睡眠不足で頭が重い勉强過度で頭が重い勉强過度で頭が重い



表發新

死頰

んの

D b



觀文證單

Wirksames Campher-präparat gegen Herzschwäche und Dyspnoe

强心呼吸興奮劑(日英米爾佛發明特許)

CH₀-C-CH₁

財團法人理化學研究所 鈴木梅太郎博 士研究室に於て研究創鍵せられたる「理 研カンフェナール」は既知の カンフル誘 導體たる オルト バラ バイ等のオキシ カンフェル類より誘導せるケトン 政は

アルデヒード類と異り 作用初期に抑制 作用を伴はす 然も既知誘導體中頗る強 力なる强心作用を有する誇るべき優秀品 にして下記の特長を有す

- (1) 心臓そのものに 作用初期の抑制作用を伴はず 强心薬と して働き且つ呼吸中極 血管中枢にも作用す
- (2) 臨床實驗の結果は何等の副作用なく良く强心呼吸興奮作用 を迅速に發現し 殊に浅薄なる呼吸を深大に増强する作用 長 は本剛の最も誇るべき點なり
 - (3) 化學的純合成品なる上 酸化を防止せるを以て其內容及び 効果は常に一定不變にして毒性頗る弱く價格亦低籐なり

理研 カンフェナールは血行機能障碍呼 吸障碍ある患者に 皮下若くは靜脈内よ 9作用して脈搏頻敷にして小且つ緊張厳 を大きなし緊張を増加し 他方呼吸困難 を去り呼吸敷を減じ呼吸を深大ならしむ

る作用を發現す 叉心臓衰弱をの他脚氣 結接等にて低血懸症狀を呈するものには 多くの塩合血壓を上昇せしめるが高血壓 症狀を呈する場合には更に上昇性には作 用しないのみならず恋ろ血壓を下降し患 者は頭部重勵の感を輕減する

適應症 急性心臟衰弱,一般心臟疾患,血行障碍, 浮腫,愈性虛狀狀態 呼吸困難、諸種中海、急性傳染病、小兒疫痢

量 1.0∞ (5管入 10管入 50管入) 2.0∞ (5管入 10管入 50管入)

文獻は代理店より寄家に限り贈呈す

製造元 明祖 理化學研究所

大阪東區遊戲町 #X ## 華 澤 友 吉 商 店

代理店

東京日本福岡本町 #xee 田邊元三郎商店



不 內 2時間 番話と メガネ 市店

A 別府市鴨水園 新型豆

植 物 性 嬉しきステップ 火叉マと聞きて Ø 橀 町皮は、メスプ マの栄養で 文の健康から 新小大特度 新小大特度 小五瓶瓶 非 inti- \mathbf{H} 景 築

A-39@

能で呼ぶるの

安倍能成

著

事實の隱蔽は

磁流物的形本·那山中









(科味調のトマト 溫 材チ 村 料 初内五十年 エ 悪二僧 ベター かん混合せ器に盛り召上ります かん混合せる エ 悪二僧 ベター かんか カボメケチャツ アモ加へて 窓内 とぶとか カゴメケチャツ アモ加へて 窓内 とぶとか カゴメケチャップ 二合卵飯 アイター 作り方 い家庭向 (G e chill WEXエッノュラ 対のようたのなる。 社会天材造製トット知覧

O†

Ot

Ot

O†

A? Oî

の効果に對して多大の点でて多数の貨地器家に盛十年、此間日本は勿論

群和税明省送呈 發 賣 元

本店

憋

子宫發育不 乳汁分泌障 期障

产月經痛

礎調し、エネルギーを増機能を賦活して、月經を ペラニンは女性特有の誰 操の目的を達成せしむ し上記諸症に對しよく

定價 140単位 1-x10 1-x10 健翔 100単位 1-x10 1-x10 健別 100単位 1-x10 1-x10 12 TABLETS Delanin 1 TAB. 100m.u.











かぎれ・凍傷に頗る良し 神經痛・火傷・切傷・あ 情要人家・在キス 育要人家・在キス のがぎれ・ス 朝鮮総督府尊養局製造

九震 を記している。

發實元

朝鮮 総督 行事 寶高製造 京城長谷川町京城ビル

文房具、 **地居堂藏番類** 骨蓋

町塀練區峇下市京東

田田の友人・頼仏品の『宮梨S || 十五日か、東京田面清白のマー河主帝 || 定価二円・整金県田面清白のマー

。房

即座に當ります。の福引は直ぐ其處で福引券一枚呈上。

買土

持侵岩用爱甜道全鲜锦

!に座。即、上。買。おは品。景。

ライオン協語語合函 ライオン協語語合函 ミクニ粉末石鹼 様 人

方個個本本

て店おるゐて出の一夕スポ出賣は上買お 豫防一箇の美一

店商林小泉紫錦本客園ンオイラ



頁六十共刊夕朝

FIJ

第月 人物 第



關係相會議を提議

新の實現は

問に對して林首相は答ふ勝田氏の質林首相は答ふ

貴族院豫第總會

州財務局長より 朝鮮队につき説明 | 月中旬召集の狭意|| 縦した、蠍府は右に吹り十日年後||とになつたい間側である、敷勝|| て十一月中旬召勘蠍を決定すべく||かれる間雲||召集の狭意ありや|| 「!」 一日の衆院委員會で

今の明年度異界が伝統に異態に、おける域材提出域の狂流状態を足地圧化計。今証蓄も原土後半期一不足であるのみなりず異素度に

府尹郡守官議 各道でこれから開催

が作り取じ来死 がたものであつ にこで知られ では、スポーツマン ののである がは、で知られ がある。 のである。

後く済ました

東京開催に決す

り、とお行旅のい を整成に脱添せ たと警戯に脱添せ を登成に脱添せ のこ目の収 がある。

化せてみる

月中旬召集に

2質現の意向

きのふの閣議

各委員長に懇談

各省次官が申合す

伊賀漢銀專務 政権制に行よの がかれて 想あり

で、一日、 腔髄の にずの自宅に必要 で、そのま、原 で、そのま、原 逝去した、 て示常した

が市は和漢栗の唯實永密的: ~ と洋葉の迅速的栗姉の綜合如本を養輝する前便有効の家庭常師。 栗であります。 貼るとすぐ強力 栗であります。 貼るとすぐ強力 栗であります。 貼るとすぐ強力 でするが、大の思部に凌霆して 行きがいたが方で

12,5

延する記込みで 行は動音の手配 ことになった、

る確実の輸出人とより時に肥料 とより時に肥料 といったので、題

経業試価法の

一般。明 朝。 別。 で

硫安の輸出

٩

元年が九回畿

出する が決定正式して を決定正式して

されるものと見れば第九回総合は代国代表二百

ると共に次の

房藥網輝邊渡藍舖本

(東京の天心長)

学山に「動行 で、山に「動行

表を5せてある。 大の仮具含を がたかる本田 の 木町名女は第一次 がおから

地番一十二町電區布贏市京東 (番七○六四京東替撮)

数十二金 数十二金

個 一 金 銭十五金 りあに店業各國全

亡の史質に感慨無思であらう。史を紹ずるものは、何人もそので

皇猷を扶翼し奉らん

小磯偕行社長挨拶

齺

ソバカス取つた**賞話**

致

·田中三眼商店

時局柄質現の可能性强し

いった。 いった。 のでは、 のでは、

大

農林局發表

上端は初期の単既により一般。 下八分五厘の増加を示したる。 下八分五厘の増加を示したる。 下八分五厘の増加を示した。

第三回穀物大會決議

不所回答を通告

全文十四ケ條を穀物協會

夕刊後の市况

一次検査を整備



奈木・チョン

CHOCOLATE !

二日半分 二十段 四 日 分 二十段 四 日 分 二十段

받

社會武林集製玉森

m^s 疹

肺 風⇒ 唛 臘 頻 邪~ 病 息 咳 日 痰 發 唛, 世 患 咳. 忠 忠 **Y**: 者-耆 \mathbb{A}^{2}

思 者

清釜山 京城府 津府·

市大倉町 一港

三五店

#

すば 同期に作い取に良し

● 番気寒快にて過勤に動作用なし 本 本舗 #式會社 藤井得二郎商店 #於東京1番

F12--i0

● 全園 各類店にあり

第への電報を来郷に防止することと 約ですから、腿尖、肺臓寒、 腺綿酸 そくを治療されたがは、 阿側が登録

もなるのであります。

間 商 録

清意

京城府西 H 小門町







しての配伸皺の歌思です。 を感述すやうな質様がいたします。 となばれ程最古のホルモン迦服概と を確述すやうな質様がいたします。 と親と目となく程家 は単心のとい源自員が強いといふ。れてもよいものですが、慣れない「の讚いものでも入れるとなか!〉はビタミンAが別層であり、牡蠣「してもよいし、荷井や噪鳴計へ入」ふおりとした計の質が出来て家師)

たものがあり、饅頭の採なものに「子經理、これは聖通。な付け同機に

胸線といつて細胞の貯蔵器のです

理の仕方を聞くことにしませら

知取一箇を済してかきまぜ

先づはじめにホルモン領壁の白

ものもあるし父そわんくはつきり

色々に調理してよし

たとへば若鵬でこうし等の揺なた理由のあるものもあります

駆けてぬますが、中には迷信的な

圧ではかたつむり、壮鱗、苔鷹を

を精力権証料地に帰げてをは、西普

ともいいませら、日本では

E

地址に帰じあり、若近ルモン料理は即も積力

を受けてるます

ホ

Ŧ

料理の仕方

安くて美味しく戴けます

懸罪いろいろあり、料理の仕方も

内臓になりますと廻の内臓、質、

、て聞いても実味しくあります

2のに味をつけ茹でた青葉等を加一を助を五分にの即名に切つて、歴

をあて三十分におき、過で程よく

がよいのです)内臓はレバーと

伝の(戯牛は硬いかに特に仕牛。てでよろこばむるものです。 こをたぎるやらにおすくめしゃのやらにしても纏つて修ける。 なく、中華で放けなどの種類にし、の責ける人は、オレンギ系のソ詩と生現計をませて、つみ入れ のが弱く、これを自家服はかりで、プルーのスエーターを着て

=美味しい、揺りつぶしてメリケ

胃腸の足ようなど腸用の出来なり、くなさればようしいつで 他大家の敷物、質鐘のカバー、鯛、心傷で、顔色の思い方に

肝臓は串にさして付焼さにして つけると削よろしい

此

頃盛

h

に宣傳する

ふのはなかり りに入らず、船と見宮をつけてか ところがこの容集とい

しすつばくつて振ひな方は

葱の臭味を

本野氏は遠行に気先5つたらしく、角で関歩・大二角板・五一金、六四 | 「東海子・玄養園であらう」 本野氏は遠行に気先5つたらしく、角で関係の味にかか確認けれた。 かき と 「五角なら、先手三二親など切り つた。これに對して敵の四一国遊に到く作戦であったから、か 巻手同戦の時、「天戦を1日角の「五世を取くしつ」、四四歩と高が大きを取りては、比 長等三十四分の後節かに四 上記 にだらめに変であるか、第の人間にはるためであったから、か 巻手同戦の時、「天戦を1日角の「五世を取くしつ」、四四歩に対して敵の四一国途に対していた。 から かい と 一日角の 第一年 と だいらい と 一日角の 第一年 と だいらい と 一日角の 第一年 と だいらい と 一日角の 第一年 と に からい と 一日角の 第一年 と に からい と 一日 を で と で と いい に 山 い と 一日 を で と で と いい と に 手 の と こ と に からい と で と いい と に 手 の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す の と に す い と に す の と に す の と に す の と に す い と に

を外部から語られないやうにする。 を防ぐ第一般は家を延げてゐる事

上に不名響なものです。 た時などは、質に賦な臭 盟都を引いて大蒜を食

かれ、粗吹のは鑑をうすく

然門をサッとかければば

後手は急戰を避く

を食べた後の日臭 人に確はむと、ま



能など嫉似で、女師先のすうに かけ、陸家と接觸してゐるでうな 所は心部から題を を一箇口中を観かし行ら なども悲の故です の興味の臭味が扱けない時

て用々とれず不愉慢なものの臭声は他の复数にもつい

お風をについた

ですが、脚丁は必を上にし

奇

の 三 四

飛

一時間十六分

絶對的な七五少

館となると単角外間の ひが続行しようといふ時で、空期。例の一月で留守と躍るでうた南京なります。そして此頃から空原雅。 る事が大切です、田掛けるときは かげろふかゆう

所の人によく頼んで置く事も居れ



帖

生要を指上れにしたしいの

です、硼酸でもかひをなる

錠前は大丈夫ですか

な。けらからにした方が安全です 人が来いら家の外で配替して概を明 人が来いら家の外で配替して概を明 に関する。

一一銭 男や一寸質様に行なられ一つだす

行締りになりますが、こんなとなっ、時間が短いので送いく加ぬ 一その地級に狙う場合も

流代 先 一學六段 殿は---・二四からの最前 म 野 勘

着てゐると言ふ譯で、從つて肌には絕對

酸性クリーム が 合理的!

リクダンシェベルアデイ

と呼びます。即ち 酸で出來たマントを

生理學の方で 『酸マント』

·當

『ホルモン』料理の一項目を購へて管の語のに勝じてを ります。それほどホルモン相郷はいろいろの人から強勢 一の頃、東州には一寸した料理屋のメニューの中に吃捉 事が第一の理由にたつてぬます 白子、内臓など 榮養價は満點 野川に京學の方か「でありさせう ・動物の配属、内 | 方等には訳かす事の用来ない食餌 ら太放射を押された得力地赴兵物

質等の那)は光ビホルモンが主成。 で、中でも自于一館、郷、むつ、 陰何時までも若くゐたい御婦人の 力削ともいふべきで、活動家は勿分とたつてをりますから絶好の間 ぼろ布を利用して

見事な敷もの

新能器はこの位にして實際の料 ら、遺跡に入れてバラ/~にすり 之を続さも様でも荷の配合のよいと一つ実験の思い方もありますか をよく沈つて汚れを除つてから、 **で質問の中などを整理して、不用」は、手に懸して赤とか話とか能とのほとのですが、暖の時に接の中しです。 たとへば ごつぼい台の山 を献ると大概たのしみなものです。 のものなど取出して動物で帯など でで使れた作品性など始末に | 色の配言をよく方へこことがいて使れた作品性など始末に | 他の配言をよく方へこことが出来き ●例へば着記等といたもの

11 の産立った所に一起づ 白取りよくつなま台せて、東央ない。 つすくつて入れますと 本歌館とう こ…… しょうなきません おますと 本歌館とう こ…… | 木織でも人絹でもメリンスでも混 一を取谷せたり、県には近を取合せ ぜ合せて織つてよいのですが、帝 と言った風です、なほ骸物には

劉の内職はバタ船にすると簡節一美味しいお物類ともなります おくと、酒の肴にもなり、 | | ねて側さのでうに並て日間 の内臓はむお生姜を入 た肺・脂が食べられます













其他ひょ。あかきれ。しもやけ。うちみ。いたむところにとれかんそに用めれば忽まち痛みを止め癒ること単やの肺物一切・いけご・きず一切・持いほち・きれち・脱こう・ ほち・きれち・脱こう・

京都府向日町 上 H 我

dwall I dwall I dwall I ddwall I ddwall I ddwa

お肌の 味方

ですり

健康な肌は 酸性の分泌物が出て、常に

皮膚面を保護してゐます。 之を

食野日

健脾丸本家



定價 令什器·江一器·一四·京川

るは暫を効害し用題に患疾部胸等炎機関

これまでの頻紅

効果がまる

赤ぢやないが

ヒフの色が出た かった。生きた どうしても出な

で違ひませう

質に細切りにした内盤に鹽的根を

題目にふつて聞くおき、メリ

別になります、琴、七寸四の間に

織ると五派な間衣僧になり、其の 权長さ合せると花茣蓙や絨籠の代 側にあつさりと聞かれます、適

ても丈夫です、九尺位に切って三枚かより合せて原面圏にするとと

が、他のり良い方ならお化せかー が、他のり良い方ならお化せかー は、生なってみます。、 のでは、「他のでは、「他ので 頭の色を思く見せる場合があり ススエーターの色を選ぶを説 て、スペーターとお館の色との時 会変色は大抵の方に似合います 調和させなさい

お肉などを焼く時には、解り長いして豚を磨さますと、豚の内部まで

よく退つたのちの赤い火位の加減

野連七八十度の火力で、以火のいものですからよくありません

いて、中はかへつて火の通りが窓 てしまからに、上面だけはこけつ と、趣頭の蛋白質がすぐに固まつ

具其の他の発養分を出来るだけお のは、砂白質を励めずに一世日 こうと言るのがよいと言はれてる

スープを作る時には弱火でとろ

上手な火加減…

のです、と言って、あまり高い際

物色と 。

お顔色とを

の中に留け込ませるためですが

時間からつて現代で建くのは帰る。| 程金に

跳が通り、そのうへ必要な

「もごかに踏まつて消化も思いも。美味しく食べることが出来すす然くなりますし、焼き上る頃には一次分が腐の中に残つてゐますから

フランスでも

つくつて、皮膚分泌の不足を補ひ、――健康な酸性クリームですから、

.30





















tz 勃 Ŋ» b

木 鈴 器 舗本案の味 適用御省内宮

萬府民の血は躍る

陸軍記念日の意義謳ひつ

軍國感激の大繪卷を展く

懶の市場――かくて、早春を飾る塩園一大院識の節記は密隆田記念件の現典を野行、名には銀旗地には土萬可成の総融紙技を郷へて花町地立地で望んある院健康結成の北典と

通用、中等學校、西側の総合院

容演習實施開城でも防

七八付幸少位の軍事議員領を団能 から小仏世動場では長頭頭門を行 く戦後を製出した、かくて十一時 研修開必死の活動で一たまりもな

記念日を配するとともに製芸芸術

の重要性を整論せしめた

写真―上は野遊版

時半頭月曹校に労働ひして八時一 近路を行った、登加融過は午前 !港の空を

歌は女兄歌僧に勢揃びして~園毘難ル歌起々の気勢をあぐの将足の前は湧きたち、ける十月結節式をあげる仁川的謎 は相勝しい確単配念日早頃の名に炸製する数製の花火に十 川」うすら寒い後垂ではあるが崩潰の至を想し出すに

午町九時から川堤第二十両閣長、南雲が兵第七十八

赤誠の府民萬餘勢揃ひして

睛れの結團式學行

うき防護團

自型を强調

総名を貼へ水を除せの針領下に動「クト側場に並れる、開遊職新職式」 温養にい式真を売了した場が削り取り、四千の別遊職はは「さは、はたと正人で成職の気がサーに明御職結ぶ」。達点記念日の越り

析成七千原名がこれに改き有成大、りついで部島中央に設けられた武雄人館、修察殿、府内音樂改生徳・觀及に際館を起興した後記兵に移動との時、修察殿、府内音樂改生徳・觀及に際館を起興した後記兵に移動と呼吸立ち

機能を送したが、本社の閉答質問

か果りの客に焼青たて、茶の磨鉱、丸・一色に飾り面公園の千代田殿がよく、上記なく観し、四四上、緑りなんけら出ばの間には出葉がいます。 一個組織者に使用を一個四上、緑りなんけら出ばの間に気流とにりもなく配送し破機は三、四四上、緑りなんけら出ばの間に気流が、作用で焼き、花町埋草地の三星の高い板、四つボンのり扇さをシンボライが低、花町埋草地の三星の高い板、四つボンのり扇さをシンボライが低、花町埋草地の三星の高い板、四回に飾り面公園の一代田屋

終れする頃、生前十時四十分はる一部つた、たけこの目が内は、中の生命による頃大作業を行ひこれが、終了し起題は限びもとの部けざにないによる頃大作業を行ひこれが、終了し起題は限びもとの部けざにした、年前十時五十分駐総に海湾は下れる。 勇者は市街大行進

威力の備へを讃へつ

定の房場

淋菌を適様に

の 八〇瓦人(約年3月最)十二五五人(約年3月最)七五五人(約年3月最)七五〇五人(約年3月最)七

直接曝代理店へ

文 献 進 呈

公審、四分願は出來商業と推論で「生の師談マスク談は所式の心をン「市中主要提品を行戦」を長四キュ「故、これで記念行事の慕を出るため知して配論に就き果分離は改命「頭に市中行戦をなし南手閣」に置しま要要取可に置る一大行戦地総は「三百の行戦をすまして正午すぎ解し

海底に腐る鐵材の 上げ商賣

ンの最早で飛行機水理を見るや對

時観の火道を切り

社意を興へた 社意を興へた 社意を興へた 社意を興へた 社立の第七郎社会は明和社二年までに着を 無数使無数の修告を載したため 土面部落は別和社二年までに着を 無数使無数の修告を載したため 上面部落は別和社二年までに着を を数では四月離内各面課へ紙の 後述二十二部落であるが幾ら、百 消耗品節約嚴命

の形器をして辿りその中でも東京

部落四十八部落にして今平度貨融 てほく~~の應である部落四十八部落にして今平度貨融 てほく~~の應である

これは新手の思案 開釜連絡船で發見

【筆出】 釜山の棚門を架候せんと | 明ずべく取調で翻行中 朝鮮瓦電總會

T Ø

洛東江の海苔は腐つて減收

鶏はさかんに産卵

|曜日は社である、数かざのため||荷剛幸で挽動される発動事態で、「窓々たも安園を購入、四百日人同

思されてあるのは謎の言

いこないで物質商を配目に

単となり生産前の間、き恵工製造などの

点着しれるに至った。 とうが「い産卵液が高

年末から一月へかけて上華の生

時間を対している。 を対している。 をがしる。 をがし

飛むの病果に立能って りである、といふこと りである、といふこと 脳膜の僅か 姿態に ないからであ 銀鍘の殺菌法で

栗

全暦薨店にて販賣す

田東南部のい命は南部

道民の生活安定

T

助道を増減致し之が敗善曹長の強

のものもあり智島では微に依に対し、が最り道路前は解氷して泥液体との他脈搏にも配観なくなく不明 【末周】塩川地方は三日から線の上げは三十七百線圏に上つてをり オラーオーノ くっト

【永同】場川地方は三日から歌雨

シネマと演劇

耐脆額を選ぶととが 一が開節の方に 一が開節の方に では、一が開節の方に

心臓の近頃と

殺菌の作用を

堤川地方の豪雨

山延豐線道路收修松面里面道路開通促進運動人把

【後愛】数日前統委祭祀中政は田 河を拝吹する一方金氏を開門の上一されば初は単台段四百七

徹底的に宣相利明

江回野都得で開鑑、預期を作成で「水川」様山繁空預測主場前は二

創立總會 山繁榮會

際面取調べてある、犯罪の内容は

の最立金一萬三千五百七十四を配 つたが明和七年十月六日辞献の原一王百十一口(一口五十三)では

> L。別一着于事業を左の如く決定. 副官長には洪元植、金水宝氏試

幹部の詐取や不正貸出し發覺

『の家宅を捜査し同組合の結婚』同組合は明和三年十月十四日に立 軍院新組合戦節並比登(8)段 展開取網べてある、犯罪の内容は

各種の施設に最善を期す

金忠北道知事道會で演述

関し民体配上が過し他はざる問題であ ので北等数国なる器対見難に對 し組造験を服用せしなべく批遊し

來之が宣傳に努めて居るが單なる

ック競戯の運転手座英語(『Dith へ機能された、戦用した被称七百(後山)府内祭司二丁目签山トラ | 資却したことが絶異、七日卷山點

る保操である。

釜山トラックの揮發油失敬

三年目に漸く發覺

質を合理的ならしむる事農村組 で来たが今後更に農家局到 に設を繋じ或は確虚契を増設し 質の整理、畜牛の同義、改良趣 見の購入等に關し夫々適切なる

出願照會殺到の半面には 水登浦の簡保

生部済は虚偽三国より最高干燥川 経に遠してあるがこの外心が開設では、日本の月常保険料は三百九十二回七十一段でされずでに四百五日を早しそ の契約高は内地人五百五十八口、 七百三十二 間六十段、朝鮮人 四品保険も数々未ご川町伊町 内地から既住者参 水分画」配場所限の動き ||別二十銭に上つて込る

淋菌の病層を治療す

在 藤 榮 先 曹京吉原遊廊

先生發

明

新二色完成の

膫

治療の完璧を進む途を二元化し素人定評ある銀劑の別

一安発軍花賞祠の如きは十二戸の 人配] 知山町三九殿元柳(元) 娘を囮に少 女を誘拐

消失の容子なき!! な痛・膿汁に苦!!

なき慢性の光が更に

後顧の憂へ尿道。銀治療劑の効果

効果を延

L

ľ

絕 長

つ Ŋ

郑州科

野學 协士

谷

利

がして用いてをり、銀製に がして用いてをり、銀製に

光る・新二色即

局警察部長

「管内狀況を職取して無形、 【永佳選】高級整部長は九日前

御飪文 Ø 際

こう 指歌は一歌、一歌東チ形皮 として一歌を出るります。 が二歌が此形とあります。 が一歌の治典、一歌東チ形皮 で一歌のかっ。 が一歌の治典、一歌東チ形皮 で一歌のかっ。 がのは一歌が一歌、一歌東チ形皮 では ない、「一歌東チ形皮 では ない、「一歌東東 では ない、「一歌東 では ない、「一歌東

假

新の別がは治療性ない数、との金融を顕水類サ太サをとれて第一に概率をせん、特に体展しましたが、整面は尿道へ揃いたれも原素と吹めること 同つている社気がほになり します、紫人に変があつて、低極の脱世 とが肚敷とします、紫人に繋があつて、低極の脱世 とが肚敷とします、紫人に繋があつて、低極の脱世 とが肚敷とします、紫人にったりになりますが、 東京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地

門門師

京城市中を行進する中等學生のマスク隊

談佳日念記

着、那郷を三階して解散した、指 三時四十五小衛島建営合版下に趙 が、北京の東京の東佐郎を一名の諸佐郡もなく午後

番愴は京城

たつた十分で奉天が出る

中等學生ら一千名が参加

鮮的技人を全てたがその都度解し は前和七年七月頃から大刀喧噪が 等に叙せられた その功勞て勲八

臨時急行 側山宮で収閊べると釜山土城

つてあるが、野配これでは、総和しに三等単を知緒して整選は和を顕 する一方で鐵道局では斉国監判が内地震に繰り回り成立は斉国監判が

指揮官⇒舌を捲く好成績

値を組んで「これきしのことでへ

確々しや 對岸帽見山に咲く 輪の大和なでして

石器さんと仲好く国境第一線で内を受けてある。異さんは朝鮮人で

を交の、いま一人は関中を動色して楽指を前辺の川邊に別倒して首

自轉車待てツ

を著た怪談二名か増れ一人は無言

旅館で盗まる

て果また異常中の翌日を顕辉忠進、十例を何諾かに越まれたできずる最近の川邊に引頭して資ー昌成成解女領中の京都造版州郷大できずる最近の川邊に引頭して資ー昌成成解女領中の京都造版州郷大

の置人だ東京選合常盤状高女をが あうのを移脱した、彼女は堀江四

京城阿恩町山七年在行西李致母"

は

絕

倫

院病人婦城京

0

犯人は二人組

石が行躍の途中九日午後八時こ

地婦人が滿人に一人の綺麗な内

廣州の剽盗

個に帰せる例派氏の好意で無公署 都の相見由(人具二萬人)になる。客は磐梯行声域では安東縣に次ぐ であ、陸江県公署を訪問した野公正午歌阪州を与る百門十里の上流

妻半永万を訪れ麦金に日子後五時ごろ京城内

遊廓で豪遊中ご用

会と催

主理狐炎

T 取引希望著祭集 **酒果鼠鮑鼠**

漳鶴

进

本語に限る

理山口屋

에한함

おみやげ第一

グのコーチをしてゐた制衛化一件

旅文上版

個別に州後、「の音楽男の死母を終」

持二名中にはは似乎の

洋服男が服毒 漢江橋の下で



國首首指定工協

THE SESSE

理学的意名有效

淡豆豆

明治座

電

特定共同的安田曾名

一八七、一〇八六 質能製水様式資産

W

恩

給

1

Ħ

費・工度 東京 南品川三丁目 電話 40 2265 * 1040番 第二工屋 東京東島川五丁目 電話線(4002) 第二工屋 東京東島川五丁目 電話線(4001) 880番 満洲門紀台所 電天浪速頭り 電話書来6667番

運

京城府英江道十五 第 市内市外トラック運

讓

る

る。上地上十六項家国五

告に脚下特に浸施にて振敬す観境料金は期めの事但配職協調五十漢芸者は一回毎に五十五観結学十五字語一回五行一

門城西大門田県沿なら中上市

門科三孔の洋版職

は国際とみられ早く

日日の十日午後三時癸卯回番刑事。院は九日間の斉心報いられ逢に

どう取り述へたかさつばり接続 - 消火に乗り出した二合の消

家町蛇窪に油岩層太郎、島に非家町蛇窪に油岩層太郎、島に非

新美容術の講習會 午後一時から來背閣で開催

美語の主は京城明倫町一ノ四

物士かっけるの防空演習を配て二

うな礼界を起出した、ボンと役出 て成功をおさめた立志版中の人で 半生に重る古心様性が聞いら (真質は温水正氏)

通じてこれまでの一時間半から二一だ、このころから次第に京場路大 | で同氏方の炊事場の頭子窓を破つ

誰かに十分で『お話し下さい』と「も同じく十分で観点の首のを繋い」台手に拳銃(オモチャ用)を疑し

込あり、張り切つて呼出した結果。京から『モシーへ』と来て、これ ところ何の九時卅五分至天への申一城の時、二分おいて九時卅七小前

一般利用の申込を得ち受けてわた。は先づ京域から発天へ送られて京王副では保証が始をまくり上げて | 大陸ひ、このケーブルー 衝突の艦

歌にも要血左手に関中市域を記し、高麗麗が主性のトリオで可出版事の一関左。直要認為部組織が設立大器では併願が法主は、総職者長の一関左。直要認為部組織が設立大党が開始法主は、総職者長の一関左。直要認為部組織が設立した登録した登録した登録した登録

昨年七月十三日三回目の股役を済む人が規範は右犯行を自自した外

學校荒しも自自

部には留とたり金雪県一丸となっ。その足で成画町の京城第一高女に高景豊府主伝のトリオで削出批単 ませ西大門祝佐所を出所するや、

たが去る二月廿八日またも加助発 具用の楽鏡を鑑むや、これで一 一の掘詞公曹に鼓人、現金と共に尻

の記念通言で好成職を得て中央部一会ての有難いかと同歌も刊用者も

お次は新京からモシー

檢學の鍵

防空演習に感激、國防費へ

幸運兒孟さん献金

のふの陸軍記念日、午町中の社会 超非常時日本の協議が高層したき

直もに手続きを取るとになったが

強強犯人権権の要には到許署の併 鍾路署の苦心

殿田されてゐる、現場には何等の際の法王田を初め飛事院の否心が

けふの天気

版は置い並さ THE STATE OF THE S A THE STATE OF THE PARTY OF THE

質獨 病が発り ギメー、軍手

有給販賣員募集

用 城武藤工 治泰本松 ルトクト問題 第 工傳常医長院 雌四九町鲁米北原城京 三九八三本二八四本電 栗甘の田池 矚嘘

信

